

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 全員協議会室 担当職員 鈴木 智
日 時		令和3年1月19日(火曜日)		開 議 午前 10時 00分 閉 議 午前 10時 32分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 富谷 浅田 大塚 木村 三宅 松山		
事務局 出席者		山内事務局長、井上次長、熊谷総務係長、鈴木議事調査係長、小野主任、山内主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名(-)

会 議 の 概 要

10:00

[小川委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だよりNo.187について

[三上副委員長 説明]

・本日開催されている子ども議会の写真を、4ページに挿入することとなる。また、広報広聴会議委員のコメントに協力いただき感謝する。

<小川委員長>

議会だよりNo.187について意見はあるか。

<赤坂委員>

表題の「かめおか」の文字を変えた方がよいと思う。また、文字が小さいので、文章を短くするか、カラーにするか等考えてはどうか。

<三上副委員長>

表題については、木村委員を通じて考えていただいた。表紙のタイトルは、議会だよりが左開きなので、縦書きが基本である。週刊誌風にこの形でやっていくのが、広報部会としての考え方である。デザイン等については、変えていくこととなる。また、文字の大きさについては、原稿を依頼する際に、文字数を指定する必要があると考える。

<富谷委員>

表紙はいろいろなパターンができるので、このままやっていけばよい。

<三上副委員長>

議会だより5ページのわがまちアンケートについては、途中経過として掲載している。掲載項目数は、広報と広聴で均等にしていきたい。今日、明日であれば、原稿の差し替えはできるので、考えていただきたい。

2 広聴部会活動

(1) 南丹高校生との意見交換会について

[赤坂副委員長 説明]

・南丹高校生との意見交換会については、1月26日午後4時から実施することで予定している。今回は、議長と正副委員長、広聴部会委員だけで実施する。また、来年度に意見交換することで調整していきたい。

(2) 子ども議会について

[赤坂副委員長 説明]

・1月14日の交流学习は好評であった。本日、子ども議会の本番を実施されている。今後、できるだけたくさんの小学校を訪問して、子ども議会を実施したいと考えている。

(3) アンケート集計内容について

[赤坂副委員長 説明]

・アンケートの集計結果については、広聴部会でもどのようにしていくのか決まっていな。今後、違う形でアンケートを実施していきたい。

<小川委員長>

広聴活動について意見はあるか。

<大塚委員>

成果を皆さんに見てもらえる工夫をしていただきたい。

<赤坂副委員長>

まとめて出せるように考えていきたい。

<小川委員長>

アンケートは慎重に取り扱っていきたい。議員間で共有するものとしたい。

<赤坂副委員長>

一度まとめていきたい。

<三上副委員長>

南丹高校生との意見交換会については、議会だよりに掲載するので、写真撮影をお願いしたい。

<小川委員長>

南丹高校生との意見交換会については、新型コロナウイルス感染症対策をしながら実施していきたい。また、両部会長には出席いただきたいと考えている。

3 今後の活動について

<小川委員長>

今後、フェイスブックには、できるだけ記事を投稿していきたいので、役割分担を考えていきたい。

<三上副委員長>

市民との双方向性については、今後コンセプトを検討することが必要である。議会だよりの読みやすさや表紙の件については、これからも論議が必要である。中高生の美術部に表紙のデザインを依頼する等、実施方法を考えていきたい。

<大塚委員>

学校からデザインの応募がなかったのは、どこに課題があったのか。

<三上副委員長>

議会としてお願いする場合、議長名で依頼しなければならない。そこまでの企画ができなかったからだと考えている。

<松山委員>

市民からアイデアを募ったが、議会と市民との双方向性については、市民がどこまで求められているのか。違和感がある。今後の方向性については、広報部会で検討していきたい。

<赤坂副委員長>

広聴部会としては、活動できなかつたので大変残念である。引き継げるようにするには、できるだけ同じメンバーでもう一度やっておかなければならない。今年もコロナ禍ではあるが、活動していきたい。

<小川委員長>

広報広聴は大事であるので、コロナ禍ではあるが、今後も工夫して取り組んでいただきたい。

4 その他

<松山委員>

1期目の議員としては、どのように活動していけばよいか分からない中でも、頑張ってやってきた。広報広聴の活動は公務であるので、しっかりと出席することは大前提である。今一度このことを確認いただき、一丸となってやっていきたい。

<小川委員長>

広報広聴会議一丸となって、よりよい活動をしていきたいので、協力をお願いします。

散会 10:32